

1. 今の南公園ってどんな感じ？

(1) 公園の概況

- ・南公園は、昭和 37 年 4 月に開園し、昭和 47 年の 7 月には市民プール、昭和 50 年の 3 月に交通広場、昭和 55 年には遊園地と梅林が順次開設され、古くから岡崎市民の憩いやレクリエーションの場となっています。
- ・南公園の維持管理には年間約 1.2 億円がかかる一方、公園内の施設の多くが設置から 40 年以上が経過し老朽化が顕著となっており、更新の時期に差し掛かっているため、今後さらに修繕・改修等の費用が必要となります。
- ・こういった状況の中、市の人口は今後減少が予測されており、南公園の維持管理・老朽化対策のための財源も減少が見込まれるため、南公園の周辺施設との関係も踏まえながら、適切な対応を考えなければなりません。
- ・市で定めている計画の中で、南公園は「家族レクリエーション型の公園」として整備することが位置づけられています。

南公園 MAP



南公園



南公園と同程度の規模（広域公園、総合公園）の状況

- ・岡崎中央総合公園
: 市民球場や総合体育館、球技場、テニスコート、弓道場などスポーツ関連施設が多く配置されていることが特徴の広域公園
- ・東公園
: 動物園が特徴的で、花菖蒲園など、自然の地形を活かした四季を楽しむこともできる総合公園

岡崎中央総合公園

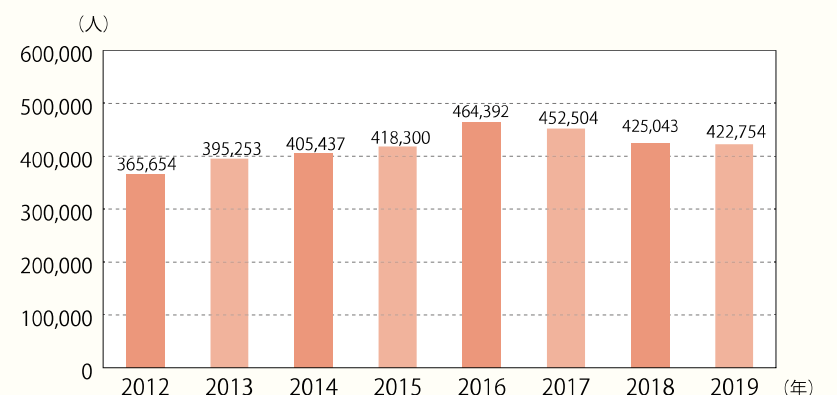


東公園



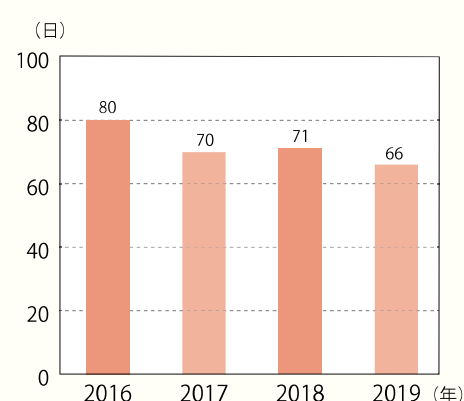
(2) 利用者数

- ・2012 年以降増加し、2016 年で 464,392 人ですが、2016 年以降は減少しています。
- ・南公園では利用者数の減少がみられますが、近隣の類似公園の利用者数は、横ばい傾向となっています。



(3) 駐車場利用状況（1 年間あたりの満車日数）

- ・休日を中心に年間 65 ～ 80 日程度、駐車場が満車となっています。
- ・第 1、第 2 駐車場は、東側国道 248 号沿いにあり、利用が集中しやすいとなっています。



満車の様子（第 1 駐車場）



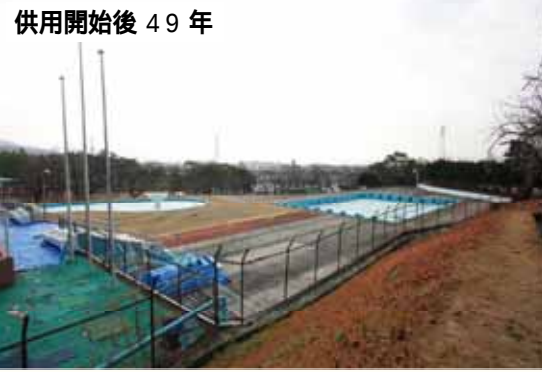
(4) 施設の老朽化

- 多くの施設が設置から 40 年以上経過しており、老朽化が進んでいます。

交通広場



市民プール



運動場



テニスコート



トイレ



開設後間もない頃の南公園



(5) 利用者のニーズ【「声の箱」の集計結果】

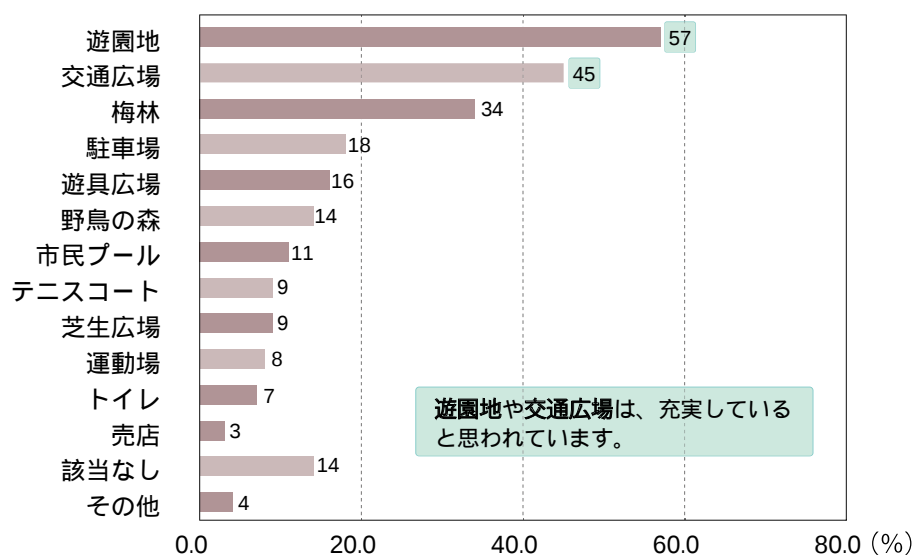
調査概要

実施期間：平成 30 年 10 月

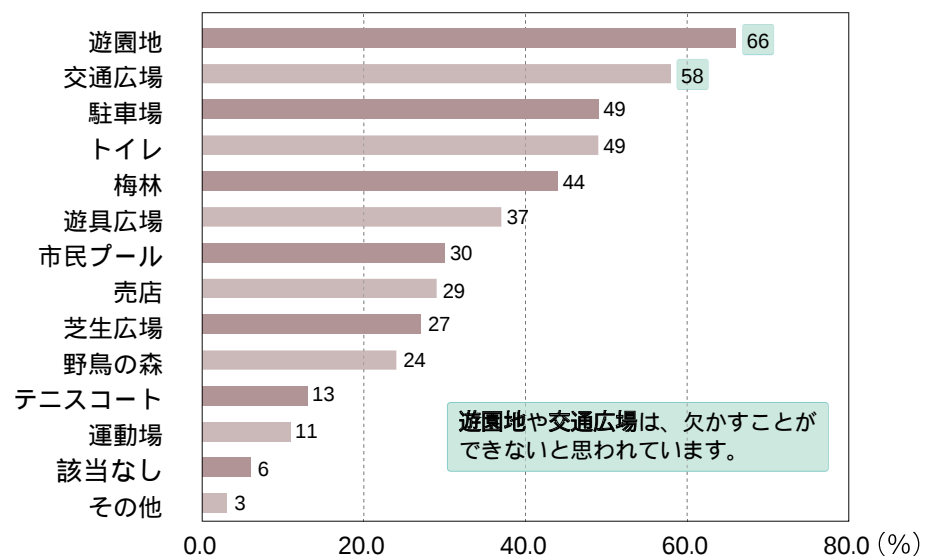
回収結果：154 票

対象者：e モニターに登録している岡崎市民

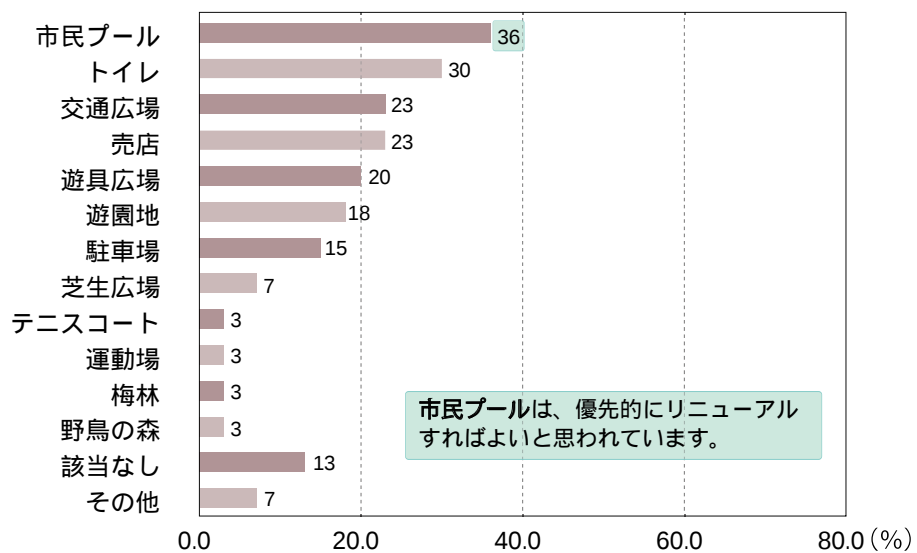
Q. 充実していると思う施設



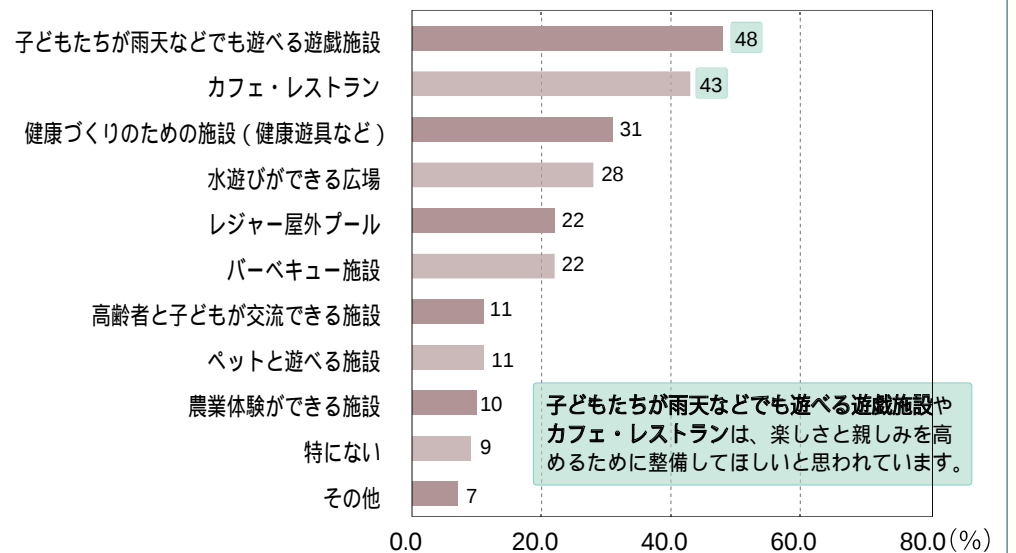
Q. 今後も欠かすことができない施設



Q. 優先的にリニューアルすればよいと思う施設

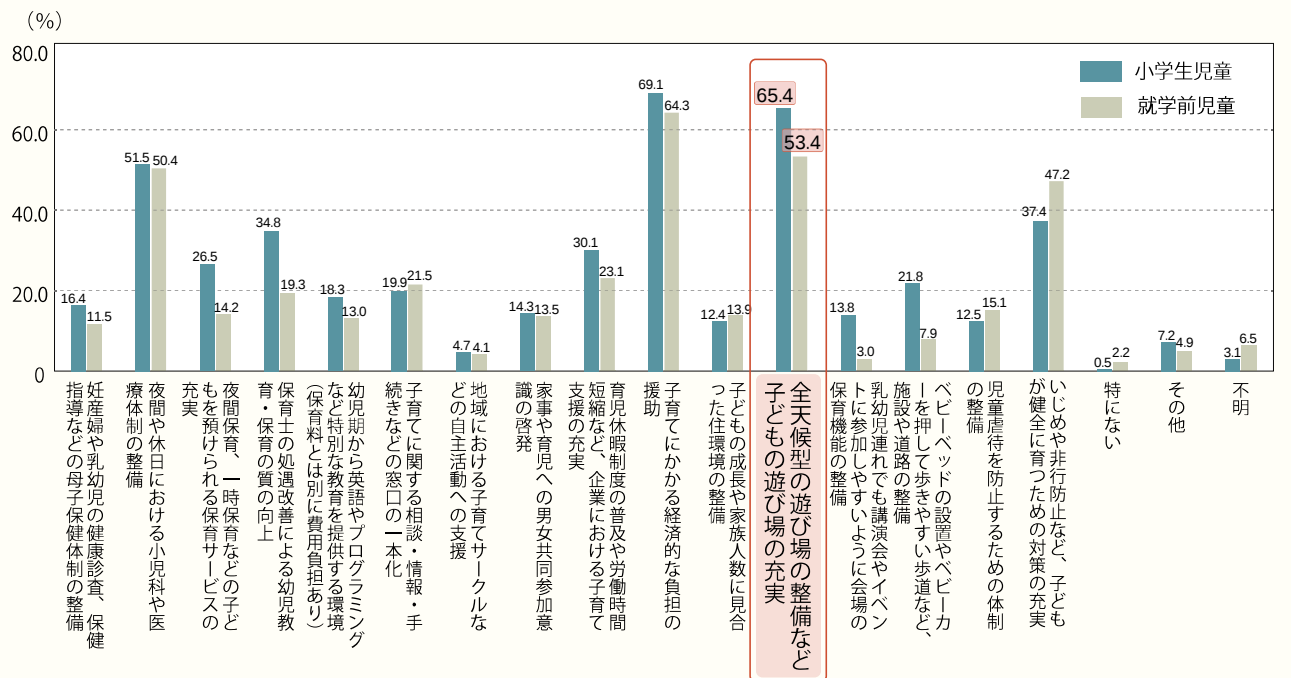
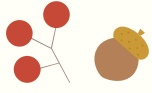


Q. 楽しさと親しみを高めるために整備してほしい施設



(6) 児童のニーズ

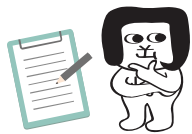
- ・「おかざきっ子 育ちプラン」における、岡崎市内在住の子どもがいる世帯を対象としたアンケートの集計結果によると、**天候に関係なく子どもが遊ぶことのできる遊び場に対するニーズが高くなっています。**



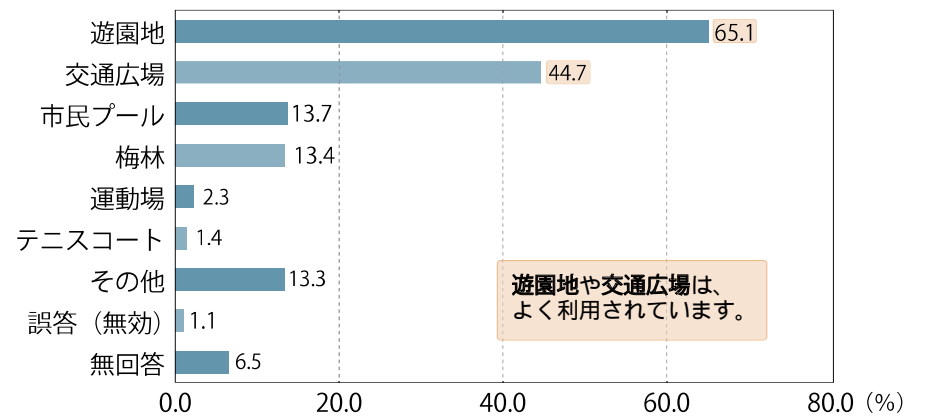
(7) アンケート調査結果

調査概要

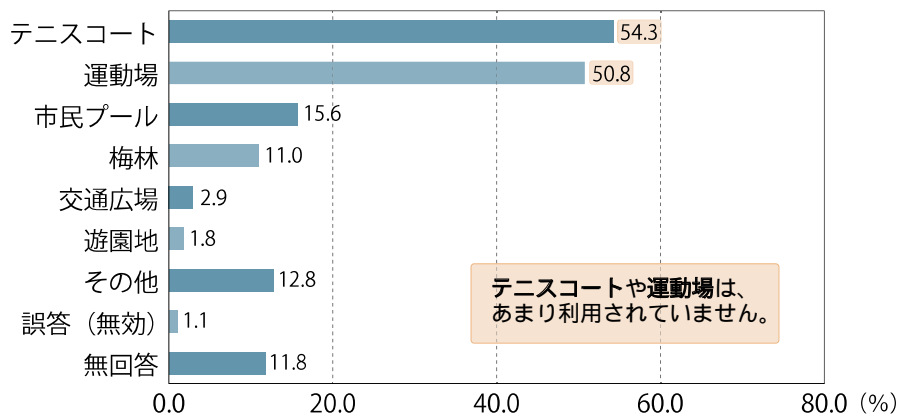
実施期間：平成 26 年 8 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日
 対象者：公園利用者（現地で回答）、岡崎市民（無作為抽出・郵送）
 準備枚数：現地アンケート 1,500 枚（不足分増刷）
 郵送アンケート 2,500 票
 回収結果：2,703 票
 （現地 1,067 票、郵送 1,063 票）
 〈回収率：約 40%〉



Q. よく利用する施設

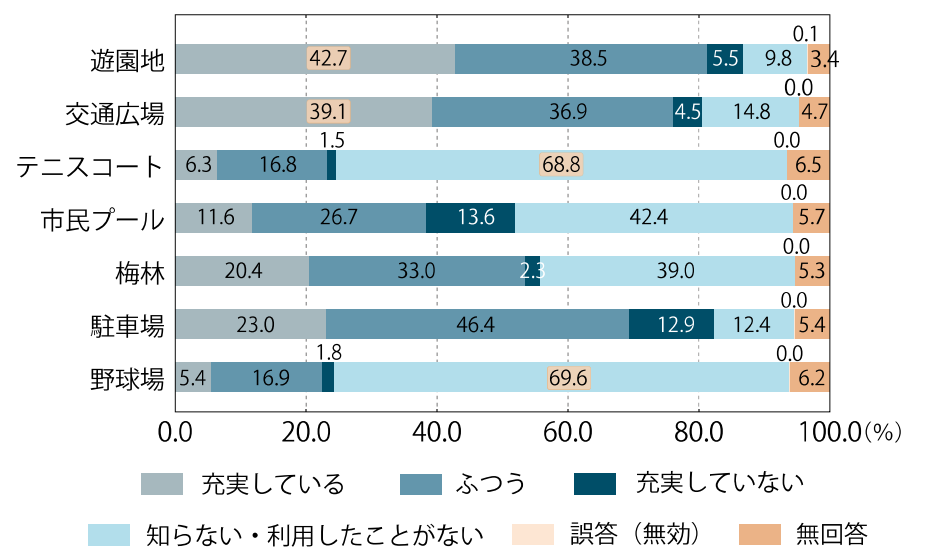


Q. あまり利用しない施設

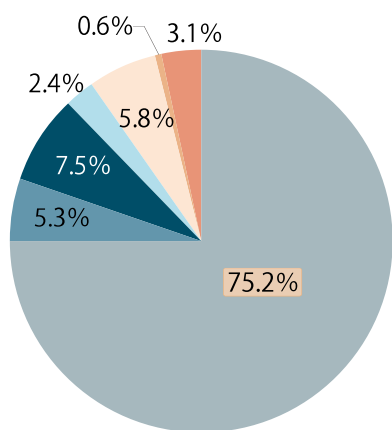


Q. 施設別の充実度

遊園地や交通広場は充実していると思われますが、テニスコートや運動場は知らない、利用した事がない人が多くなっています。



Q. 今後大切にしたい公園づくり



小さな幼児から子どもなどが親子や家族で楽しめる、安心・安全面を大切にしたい公園づくりが重要視されています。

- 小さな幼児から子どもなどが親子や家族で楽しめる、安心・安全面を大切にしたい公園づくり
- 青少年や大人のスポーツ増進や充実した余暇活動に励むことなどの機能を備えた公園づくり
- 高齢者の健康増進や体力づくり、生きがいや交流の場となることなどの機能を備えた公園づくり
- それ以外
- 特になし・わからない
- 誤答（無効）
- 無回答

2. 南公園を今後どうしていく？

再整備の必要性

南公園の現状

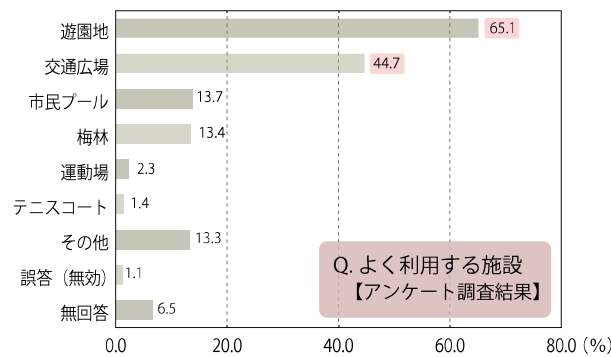
1 施設の老朽化とリニューアルの必要

- ・多くの施設が設置から40年以上経過しており、老朽化が進んでいる。
- ・運動場に至っては、供用開始後60年が経過している。



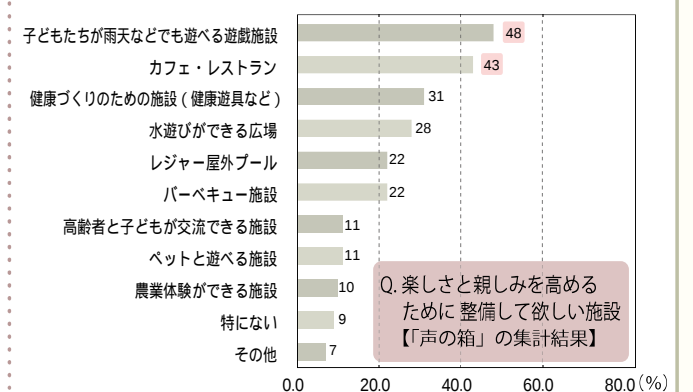
2 利用者に偏りのある施設

- ・南公園の利用者数は2016年以降減少している。
- ・遊園地や交通広場の利用が多い一方、テニスコートや運動場は利用が少なく、認知度も低い。
- ・第1、第2駐車場に利用が集中している。



3 利用者ニーズへの対応

- ・遊園地や交通広場は、南公園にとって今後も欠かせない施設となっている。
- ・市民プールのリニューアルに対する要望が多い。
- ・天候を気にせずに子どもが遊ぶことができる遊戯施設や、カフェ・レストランの新設に対する要望が多い。



再整備を行い、より良い南公園としていくことが必要

基本コンセプト



『家族が笑顔になれる公園』



▶ 方針1 子育て環境にふさわしい空間の整備

- ➡ 子どもや子育てする若い父母が安心して遊び、憩える安全な空間に再整備する。
- ➡ 子どもが天気や季節に左右されず安全に遊ぶことのできる遊具や広場を整備する。

▶ 方針2 民間ノウハウを活用した、皆がいきいきと楽しめる空間の整備

- ➡ 民間企業のノウハウやコミュニケーションを活用した多彩な施設機能を取り入れる。
- ➡ 公園に来ることが楽しみになる企画や催し事に溢れた施設や広場空間を整備する。

▶ 方針3 南公園の持つ特徴・歴史を維持保全しながらその良さを伸ばす施設整備

- ➡ 交通広場やS L、梅林といった南公園の持つ特徴は尊重し保全する。
- ➡ 特徴を残しながら、現在の法規やニーズに合った施設へとアップデートを図る。

▶ 方針4 市民目線の公園でありながら周辺地域にもアピールできる施設の整備

- ➡ 市民へのサービス向上を軸とするが、周辺地域の人々も行ってみたいと思える公園にする。
- ➡ 地元住民や市民に愛され、暮らしの町としての価値を高めるような魅力ある施設を目指す。

3. 南公園の各施設はどう変わる？

屋内遊戯施設 🎮

- ・近年、酷暑時でも子ども達が安心して遊べる場所が重要となっており、天候を気にせずに1年を通じて、幅広い年齢層の子ども達が同時に遊ぶことができ、その中で社会性や思いやりの心を身につけることができるような**屋内遊戯施設の導入を検討します。**

イメージ



親水広場 🌊

- ・現行の市民プールに替わり、水遊び遊具・ぴよんぴよん噴水を導入し、**親水広場としてリニューアルします。**

イメージ



カフェ・レストラン ☕

- ・第1駐車場出入口付近の国道248号に面した場所に、**カフェ・レストランの導入を検討します。**



イメージ



多目的広場 🎯

- ・屋外で子ども達が安全に、思い切り走り回ったり体を動かし遊ぶことができ、家族がふれあい、くつろげる場所として使用できるように、現行の運動場を**多目的広場としてリニューアルします。**また、近年の酷暑や突然の雷雨にも対応できるような広場を覆う屋根を設置する。

イメージ



交通広場 🚶

- ・地上施設の改修として現行の道路交通法や今後普及が見込まれる新たなモビリティ等にも対応した**交通教育の場としてリニューアルします。**

イメージ



バーベキュー施設 🍖

- ・近年、公園区域において手ぶらで気軽にバーベキューを楽しめる施設が全国的に活況を呈しています。
- ・従前からあるバーベキュー広場やキャンプ場等とは異なり、本格的なグリル等を貸し出し、高品質で非日常的な空間で高級な食材を提供するといった、付加価値の高い体験が手軽にできる**バーベキュー施設の導入を検討します。**

イメージ



駐車場 🚗

- ・運動場の一部を利用して、**駐車場を増設します。**

臨時駐車場となったときの様子



遊園地 🎡



梅林・野鳥の森 🌸



現状のまま活用

テニスコート 🎾



運動場 🏃



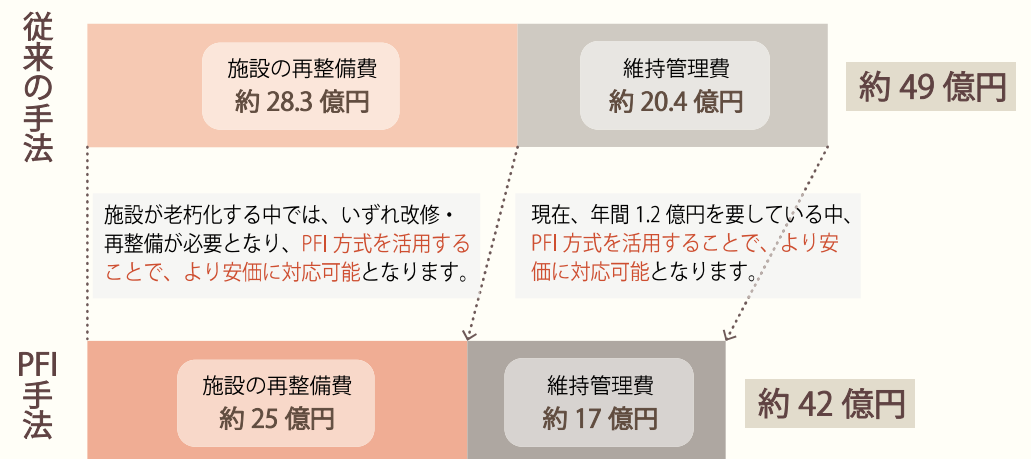
南公園外で代替を検討

4. 南公園の魅力を高めるためには、どうしたら良い？

南公園の管理運営方針

- 魅力的な公園リニューアルに向け、今後は、既存施設、新規再整備施設を含め公園全体で PFI 方式による管理運営を想定しています。
- 導入すべき機能は、南公園のにぎわい創出を資する事を目的とした機能を前提として、利用者ニーズや民間事業者の意見を踏まえ検討します。

■ 公園リニューアルに伴う概算事業費（20 年間 でかかる費用）



PFI とは

- PFI とは、民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法です。
- 安くて優れた品質の公共サービスの提供を実現することを目的としています。

- メリット**
- 民間のノウハウ・創意工夫・資金を活用できます。
 - 事業に関わるリスクを民間に移すことでリスクを軽減できると共に、財政支出の削減効果が期待できます。
 - 参入事業者は新たな投資機会を獲得することができ、長期的に安定した収入が見込め、企業としての信頼性が高まる効果もあります。
 - 利用者への情報公開が進むと共に、きめ細かなサービスが提供可能となります。

民間活力を導入した鞍ヶ池公園の事例

昭和 40 年に開設した豊田市の鞍ヶ池公園は、管理・運営が市の直営で行われていること、園内に飲食施設がないこと等から、維持管理の効率化、飲食施設や自然の中でのアクティビティなど新たな魅力が求められてました。

そのような中、リニューアルに伴い、民間が参画し、「PFI」による飲食施設等の設備・運営や、「指定管理者制度」による公園の管理・運営の体制づくり、「設計施工一括発注方式（デザインビルド）」によるパークフィールドの整備が行われました。令和 2 年 5 月にリニューアルオープンした鞍ヶ池公園は、子ども連れの家族などで賑わいをみせています。



5. 南公園の未来をみんなで考えよう

- H26 ○ 市民アンケート調査、「声の箱」による継続的なニーズの把握
- R2 ○ 基本計画（素案）パブリックコメントの実施
- R3 ○ 展示パネルによる基本計画（素案）の内容の周知
- 今後 ○ 市民公聴会等の開催

今回

